（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合			
○保護者評価実施期間	令和７年　1月　4日	～		令和７年　1月　25日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	1	（回答者数）	1
○従業者評価実施期間	令和７年　1月　6日	～		令和７年　1月　25日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	1	（回答者数）	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年　1月　7日	～		令和7年　1月　25日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	1	（回答数）	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　2月　7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門性を活かした支援	・特性や個人に合わせた教材、ツールの提案を行っています。実際に試して頂くことでお子さんに応じた支援ができるように心掛けています。	・教育や保育の実態を把握しながらさまざまな情報収集を行っていけるように努めます。
2	・保護者が安心できる支援	・保護者の方が不安や心配されていることなど共有させていただき安心感に繋がるように努めています。	・今後も園や学校の先生の専門性を活かしながら、できる環境での支援を一緒に考えていけるように努めます。
3	・訪問先との密な情報共有	・頻繁に訪問先の担当者とカンファレンスを実施し、担当者の意見を取り入れて支援を行っています。	・更にニーズを分析し、訪問が必要なケースと事業所内相談や療育、支援グッズ使用等の提供で対応できるケースなど段階や必要に応じた支援を行えるよう努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問に行ける職員が少ない	・訪問の経験値が浅いです。	・事業部である会議に参加していますが、アウトプットする機会がありませんので、訪問に同行して段階的に訪問にいける職員が増えるように進めてまいります。
2	・訪問支援を行っている職員が１名の為、他の職員の意見が把握しにくい	・検討や共有の時間は取っていますが上手く機能しておらず、児発管と訪問支援員での情報共有に留まっており、職員全体での共有は十分には行えていない状態です。	・検討の時間を固定で取り入れ、話し合い等の内容を書きこみ、見える化することで情報共有出来るように努めてまいります。
3	・訪問に行ける曜日が限定されている	・事業所において利用児を抱えながらのサービスを行う為、時間の制約があります。	・いろんな曜日で訪問に行ける方が様子を見やすくなると思いますので、事業所内で工夫をして訪問に行きやすい体制を作ります。

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日　2025年　3月　17日

利用児童数　1名　　回収数　1名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。				1		・支援後にフィードバックを行い情報の共有を行っています。今後、イベントと同時間に保護者の茶話会開催などの検討をしています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				こちらの要望通りに支援して頂き、専門的な意見も下さり安心しています。	これからも、情報交換を密にとりながら安心して頂けるように取り組んで行きます。

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日　2025年　3月　17日

利用児童数　1名　回収数　1名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。				・わからない	・先生方と情報を共有しながら研鑽に努めていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			用意が行き届いており、情報交換など円滑におこなうことができた データ上のやり取りができれば、事前に資料を送り合うなどできたかと感じた	・一人ひとりがその子らしく生活できるように研鑽に努めていきます。また、頂いたご意見を検討させていただきます。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・訪問の際の資料作成など事前の用意が行き届いており、情報交換など円滑におこなうことができた ・データ上のやり取りができれば、事前に資料を送り合うなどできたかと感じた	・アンケートにご回答頂きありがとうございます。また、保育所等訪問事業へのご理解ご協力頂きありがとうございます。お忙しい中、訪問やミーティングにお時間を割き、ご対応頂き誠にありがとうございます。保育所等訪問支援ガイドラインに基づき先生方と共同関係を築きながら支援を進めていきたい思っております。今後とも宜しくお願いいたします。また、頂いたご意見（データ上のやり取り）を検討させていただきます。

（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日　2025年　3月　17日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6		特にありません。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		特にありません。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		6	児発管と訪問支援員での情報共有に留まっており、職員全体との共有は十分には行えていない状態です。	・会議の時間を決め、共有内容を見える化していくことで共有しやすくしていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		特にありません。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。		6	訪問支援を行っている職員が１名のみの為、他の職員の意見は把握できていません。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者の評価は行われていません。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		保育所等訪問支援に関する研修会を隔月で開催しており、事例の検討や訪問に必要な基礎知識を学べる機会を設けています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		保護者との密な情報共有、報告を心掛けて実施しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	6		特にありません。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		頻繁に訪問先の担当者とカンファレンスを実施し、担当者の意見を取り入れて支援を行っています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		書面による共通理解を促しています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		特にありません。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		特にありません。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		訪問支援の内容・ご本人の状態に合わせて集団療育の療育内容を変更・改善しながら実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		6	訪問しているスタッフは１名のみの為実施できていません。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		6	進捗状況を報告書の回覧にて共有していますが、毎回職員間での話し合いと振り返りは実施できていません。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		訪問先の理念・保育の方向性を尊重し、それに沿った支援を実施するように心がけています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		訪問先でも許可を得て記録をメモするようにし、事業所にて報告書に詳しく記載するようにしています。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一回の計画書の見直しのほかに、訪問の報告を行う時に内容を保護者とともに確認し、必要に応じて軌道修正を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		6	該当する会議は開かれていない為参画できていません。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		訪問先の保育園だけでなく、対象児の就学予定の小学校とも情報共有や学校の環境面に関して検討する等、連携を行い支援を実施しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保育所とは毎回の訪問の度に情報共有を行っています。就学先の小学校にも今後児童の特性や必要な配慮等を記載したサポートブックをお渡しする事で情報共有を行う予定をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		事業部内での勉強会にて最新情報の共有や、訪問支援に必要な知識の向上を目的に参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		6	現在参加はできていない為、今後は積極的に参加を行っていきます。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		頻繁に保護者との話し合いの場を設けており、保護者の思いや訪問支援に対する要望を傾聴するように努めています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	家庭で取り組めることの助言は行っていますが、ペアレントトレーニング等体系化されたプログラムは実施できていません。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に重要事項説明書を用いて十分な説明を行い、保護者からの質問にもお答えしています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		初回訪問時に資料を配布の上十分な説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6		初回の作成時だけでなく、見直しの際にも必ず意向を聞き取り、計画に反映させるようにしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		特にありません。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		特にありません。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	特にありません。	・現状実施できていない為、今後保護者同士で話し合える茶話会などを開催していく検討をしています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談があった場合は、家族支援加算（事業所内相談）にて保護者の具体的な意向を聞き取り、必要に応じた対応を迅速に行うようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5	保育所等訪問については発信できていません。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵のかかる場所で保管しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚的に提示しています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		必要に応じて相談できるようにしています。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6		定期的にカンファレンスを実施し、訪問先の職員との情報共有や先生たちの届けたい保育なども聞き取るように努めています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		実施後、来所した時に話すようにしています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		訪問先に対しても初回訪問の前に記入して頂く用紙にはイニシャルで記入してもらう等、個人情報の取り扱いに注意しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		担当の職員と密な連絡をとり、必要に応じて助言も行い信頼関係を構築するよう努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成しており、それに則り研修を実施しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		特にありません。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		特にありません。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		特にありません。	